とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	６６－０９１０
施設名	敬愛ハーモニー保育園
施設所在地	東京都八王子市大和田町２－２０－２
法人名	社会福祉法人　敬愛学園

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

自然体験

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
保育園では自然体験が十分にできる環境が少ない為、子ども達が自然体験を
通して知的好奇心や思考力、判断力などお子さまの生きる力を養うことを目的に
テーマを設定しました。
自然体験を通して、豊かな感性を育む園庭をお子さま主体で遊べる魅力的な砂場に！

２．活動スケジュール

７月９日（水）コスモス組　わくわくデイ
東京・森と市庭の「木こり体験プラン」奥多摩
木こり体験を通して森の成り立ちや木の大切さを知る。森を探検したり、沢遊びをし、
自然遊びを十分に楽しむ。
７月１６日（水）幼児組　丸太の皮むき体験（コスモスさんが倒した木を使った体験）
　　全園児　かんなプール　木の楽器遊び

10月９日（木）４歳児・５歳児　皮むきをした丸太に塗料を塗り、園庭に置くテーブル、
　　椅子、お皿作り

２月２日（月）木っ端クラフト

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
・奥多摩の森への園外保育の実施　園バスの利用
・丸太やかんなプール、木の楽器の準備
・木の塗料　ブルーシート等
・木っ端クラフト用木の端材、ボンド、マジック

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

・奥多摩の森での「きこりプラン」
５歳児が園バスで奥多摩の森へ行き、木を切る木こり体験や木のペンダント作り、森の探検、沢遊びを行った。現地の方による、森や生き物についての説明を聞きながら森を探索した。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
年長組は奥多摩での木こり体験では、木の大きさに驚き、「なんできをきるのかな？」という疑問を持ち、説明に真剣に耳を傾ける姿が見られた。実際に木を切る体験は友達と力を合わせて木を倒す体験をし、友達と協力する大切さを感じていた。木の皮がむき体験では「つるつるになった！」「なんでべとべとしているんだろう？」と感触を感じながら、木の仕組みを知り、これがテーブルと椅子になるのでは？と自分達で皮をむき、塗料を塗り、椅子やテーブル作りに取り組んでいた。年長組の体験から全園児が木のぬくもりを感じ、自然に興味関心がいくよう、かんなくずプールや木っ端クラフトなどの活動を取り入れた。





５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

奥多摩での木こり体験を通して、子どもたちは森の大切さや木を切る意味を知り、自然への興味・関心をより深めていった。年長組が切った木を使った皮むき体験や、かんなくずプールなどを通して、木の香りやぬくもり、さまざまな感触を味わいながら、自分たちで作った椅子やテーブルで遊ぶ喜びを感じていた。そこから、木や草花、生き物など自然全体への関心も高まっていった。
保育者自身も、この探究活動を通して、子どもの興味・関心や発する言葉、気づきにこれまで以上に耳を傾け、アンテナを張りながら共感することの大切さを実感した。